

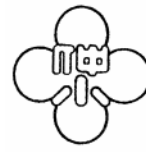
平成23年度

NO.8

10月5日発行

10月号

仲町だより



なかよく

まなぼう

ちからいっぱい

東馬区立仲町小学校

すてきな 秋

校長 澤井 英子

【秋 発見!】

10月になりました。水田やバケツの稲は、たわわにその穂をたれ、黄色く色づいてきました。畑のサツマイモの収穫も間近です。図工室の脇には彼岸花が咲き、夕方になると鈴虫が鳴き出す。自然豊かな仲町小は、本当にすてきな所だと思います。

すっかり秋らしくなってきた、過ごしやすいこの季節は、1学期を振り返る時期でもあります。14日は、1学期の終業式。通知表が配られます。1学期に学んだことを振り返り、よく学べたことや成長したことを確認し、2学期の学習へとつなげていきましょう。学校では学習だけでなく、生活の中で学ぶことがたくさんあります。各教科の評価と共に、生活・行動の記録や、担任からの所見を通してお子さんの様々な面に気付き、これからの生活に役立てられることを願っています。

【すばらしい 運動会】

晴天に恵まれ、10月1日の運動会は、どの学年の演技もすばらしいの一言。一人一人の真剣な取り組みが、当日の自信にあふれた笑顔となり、学年全員の心を一つに合わせた演技は、全ての学年で一糸乱れぬすばらしいものになりました。

特に、本校「特色ある教育」の一つ、6年生全員による「仲町マーチング」は、足の動きから違っていました。膝が上がり、揃った足の動きが見事で、それだけで気迫を感じます。その動きは、例年以上にバラエティー豊かであり、その音楽は、聴く者を引きつけて放しません。一人一人のやる気に満ちた真剣な表情から、充

実した練習の成果が伺われ、成長した6年生の姿がまぶしく見えます。「こんなに立派にできるんだ」と、低学年の見とれる目が輝いていました。

6年生がここまで完成させるためには、前学年から楽器を引き継いでから、数々重ねた苦労がありました。夏休みの集中練習では、保護者の皆様や、武蔵野音楽大学生のご協力を得て、個人の技術を高めました。毎週の全校朝会での伴奏後、全体で練習を重ねました。重い楽器を持つての校庭での練習は、なかなか厳しものだったと思います。その厳しさを乗り越えがんばった成果が、十分に発揮されたものだと思います。まさに「継続は力」。カラーガードの面々を加え、継続して積み上げてきた心と技の集大成となる、すばらしい演奏となりました。

全ての学年で、同じようなドラマがありましたが、紙面の関係で割愛させていただきます。子供たちを支えてくださった保護者の皆様に感謝すると共に、このような演技を創り上げるために、勤務時間を超越し、休日返上で取り組んだ教師集団を誇りに思います。

特別な子供を除き、ほとんど全員が運動会に参加できたこともうれしいことです。

【安全・安心ボランティア】

10月から、ボランティアの方に2つの昇降口にも居いただき、子どもの安全を守って頂けるようになりました。本校の東・西の門は施錠されているものの、正門は常に開いており、各昇降口は全くの無防備。休み時間など、大勢の子どもが行き交う昇降口は、一番危険なスポットでした。おかげさまで、20名以上の方が募集に答えてくださり、やっと安心して過ごせるようになります。今後も募集をしますので、よろしく願います。